



広報

なほ

市民の友

第653号 毎月1回発行
2005年(平成17年)

6月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2005(平成17)年4月末現在	
総人口	313,970 (1,869)
男	151,866 (967)
女	162,104 (902)
世帯数	126,442 (1,072)
住民基本台帳人口の内部(外国人を除く)	
本 庁	91,401
真和志	105,625
首 里	58,735
小 祿	56,340



初夏!! 那覇ハーリー!!

主な紙面

平成17年度市政功労者(9名)を表彰
地球を守るためにできること
あなたの身体はあなただけのものです
住民健康検診を受けましょう
情報PACK
6 4
7 5
3 2

那覇ハーリーとは

明治の置県以降禁止されていましたが、本土復帰後、沖縄海洋博覧会開催に伴い、1975年に復活しました。
爬龍船3艇が本格的な海洋シー五穀です。ズンに向けた海洋祭りとして、中国の故郷、豊穡、無病息災を祈り競漕し、中国の故郷、一般的にハーリーは、中国の故郷、事にならって旧暦の5月4日ですが、新暦の5月3日に行われます。5日のゴールデンウィーク中に行われます。

那覇3大まつりの一つである初夏の風物詩、第31回那覇ハーリーが5月3日から5日までの3日間、那覇港新港頭で開催されました。
ゴールデンウィークの中盤にあたり、家族連れや観光客も多く、ハーリーはもとより、出店、すもう大会、舞台でのライブコンサートなど花火を楽しんでいました。また、会場内では環境を考えたイベントをすすめるため、ごみの分別も行われました。
初日に行われた、中学生による学校対抗ハーリーでは、若さあふれる権(かい)さばきに、観客から盛んな声援が送られました。また、5日午後の御願(うがん)バリーのあとに、那覇、泊、久米の3チームで争われた本ハーリーが行われ、スタートダッシュに成功した那覇が、追いつける泊、久米の両チームを振り切り、昨年に続き2連覇を果たしました。
まつり前日に、沖縄地方の梅雨入りが宣言されたあつて、3日間ともぐずついたあいにくの空模様でしたが、そんな悪天候を吹っ飛ばすかのようなエネルギーあふれるイベントになり、3日間で約22万人の人流で賑わいました。

市では、公園里親として地域の公園や、その周辺の美化活動に積極的に取り組んでいる市民のみなさんを支援しています。
私達が住む街をきれいに、2000年の6月に公園里親の登録(現在、88団体登録活動中)を行った泊クリーンクラブ(代表者・中山公子さん)は、12名のミニクラブながら、なかなかどうして活動の輪は地域にドカッと根付いています。
毎月第2、第4日曜日の夏場は朝6時、冬場は朝7時から、メンバーの面々が、地域の方々に素敵な笑顔を投げかけながら美化活動に励んでいます。泊北公園を拠点とし、活動の輪は崇元寺通りへと広がっています。
沿道付近の草取り、ゴミ、空缶の回収、そして、電柱に無許可で張られているビラ、看板等の撤去も行っており、花咲く街並みに地域の美化意識が高まりつつあります。
地道な美化活動をつづけている同クラブにはもうひとつ誇れる顔があります。それは収集したゴミ等を正しく分別して出していることとで、この作業は簡単なようですが非常に重要な事であり、ゴミ収集を正しく理解しているからこそできることです。同メンバーの中にクリーン指導員の方がおり、地域のみならず協力し、ゴミ分別

協働のまちづくり

那覇を紡ぐ



「協働」とは、市民、市民団体、事業者、市が機能の違いや相互の特性を理解し互いに補完し合い、よきパートナーとして、協力し合う活動体系をいいます。個人あるいは一つの組織だけではできないような地域の様々な悩みや課題を解決するために進みます。

花は花でも泊花



「これからは公園や沿道の花々に名札をつけたり、桜の木を植えて、泊地区でも花見ができる『花と緑のある楽しい街』を目標に活動したいと思っていますので、泊地区のみならず、美化活動に参加してみませんか」と熱っぽい。さあ、みなさんも一緒に、地域に心の中にも「泊花」を咲かせてみませんか。

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。

☎862-9942 秘書広報課

100再生紙を

使用しています。